

中山桜台小学校・中山五月台小学校
学校統合準備会 会議概要

開催日時	令和元年 8 月 29 日（火） 13：30～15：00
開催場所	中山台コミュニティセンター 2-1 会議室
出席者	【委員】10 名出席 【教育委員会事務局】4 名
次第・議事	<ul style="list-style-type: none"> ■中山桜台小学校・中山五月小学校 学校統合の進捗状況について（報告） ■新しい学校のあり方に係る意見交換について ■学校統合に係る情報共有と意見集約の方法について ■その他
会議の主な結果	<ul style="list-style-type: none"> ■中山桜台小学校と中山五月台小学校について学校要覧に基づき紹介 ■中山台の自然環境を中心とした特色を紹介 ■情報共有と意見集約の方法を確認
会議録（要旨）	
事務局	ただいまより第 3 回学校統合準備会を始めます。それでは開会にあたり、管理部管理室長より開会のごあいさつを一言申し上げます。
事務局	～ あいさつ ～
事務局	それではここからは会長に進行をお願いします。よろしくお願いします。
会長	皆さまこんにちは。それではここからは私の方で進行役をさせていただきますのでよろしくお願いします。まずは、議事（1）中山桜台小学校・中山五月台小学校学校統合の進捗状況について、事務局より報告をお願いします。
事務局	<p>まずは（1）中山桜台小学校・中山五月小学校 学校統合の進捗状況について報告します。7 月 16 日（火）に第 2 回の統合準備会で議論いただき学校統合のプロジェクト名を決定し、統合に係るお便り「わくわく！ニコニコ！みんなの学校づくり大作戦！だより」を 8 月に発行したところです。大作戦だよりは、お話をいただいている内容を継続的に掲載し、皆さまにご覧いただきたいと思っています。</p> <p>各専門部会の進捗状況については、前回の統合準備会を開催して以降のお話をさせていただきます。地域・PTA（育友会）部会が 7 月 1 日（月）に開催され、地域部会と PTA 部会という形で部会の中に部会をつくって協議を進めていくという事になりました。7 月 23 日（火）には、地域部会を開催いただいております。その中で両校の学校支援活動について今後交流をしていくというお話をいただいております。また、8 月 27 日（火）に通学路の合同点検があり、PTA や育友会、地域の</p>

<p>会長</p>	<p>見守り隊の方々にもご参加いただき、想定される通学路を歩き、危険箇所等の確認を行いました。総務部会については、7月下旬で調整を行っていましたが延期とさせていただきます、9月6日（金）で再調整の上、開催を予定しております。事務部会、教務部会、社会体育団体部会につきましては第1回目の専門部会の開催に向けて調整を進めております。簡単ではございますがご報告を終わらせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。続いて、議題2に移ります。前回の統合準備会で両校及び中山台の特色について共通認識を持つというお話がありました。議事の(2)新しい学校のあり方に係る意見交換について、それぞれの小学校及び中山台の特色を簡単に説明いただきたいと思います。まずは、校長より中山桜台小学校のご説明をお願いします。</p>
<p>校長</p>	<p>配布資料の学校要覧に基づきご説明します。中山桜台小学校は現在1～3年生がそれぞれ3学級、4～6年生がそれぞれ2学級の合計15学級と特別支援学級が3学級で12人、合わせて433名の子どもたちがいます。学校教育目標は「輝き、はばたく、桜台っ子～未来を担う心豊かな子どもの育成～」です。目指す子ども像は「夢いっぱい、力いっぱい、笑顔いっぱい」とし、子どもたちの育成に取り組んでいるところです。研究主題については「聴き合いを通してつながりを深める子ども～考えが響き合う授業を目指して～」として授業に取り組んでいます。何年も前からこの教育目標になっていますが、きっかけは子どもたち同士のつながりが薄いという事がありました。例えば兄弟が少ないことや、地域の関わりが段々となくなってきた中で、子どもたち同士がぶつかり、それを克服してつながっていく、色んなことを乗り越えていくというような経験が少ないことが課題の元だと聞いております。子どもたちが人との関わりの中で成長していく事を目指せるように、研究主題を設定しています。また、縦割り活動を取り入れ、1年生から6年生までが1つのグループになって行事やお掃除を行い、色んな人とのつながりをつくるように取り組んでいます。行事で言えば1年生と6年生で校外学習に行ったり、修学旅行に行くときには6年生が各学年に回って平和集会の話をしたりしています。また、桜小フェスティバルでは色々なお店を縦割りで出しています。みんなで遊ぼう会では縦割りの中で高学年が主になって遊ぶ時間を作ったりという様に、関わりを深めながら成長していけるように取り組んでいるところです。そして、情感的にもつながる事を授業の中でも経験し、その中で人に意見を聴いて、お互いを認め、自分が成長した事や新しい学びが出来た事に対する喜びを獲得できることように、研究の中で確認しながら取り組んできました。昨年度には阪神地区の先生方に来ていただき、研究発表大会をしました。その際には育友会の方々に大変ご協力をいただきました。また、授業の中でも生活の中でも、「自分も人も大切に出来ること」をキーワードに取り組んでいます。その中で「努力の壺」という話をしています。努力は見えないけど、積み重ねることでその壺が溢れた時に、その壺の大きさ分か</p>

	<p>るというお話しをしています。その他にも、「丁寧なあいさつの壺」、「元気に『はい』の壺」、「靴はピタっの壺」が玄関を入ったところに描かれています。そうやって子どもたちに一つ一つ努力を積み重ねていくよう話をしています。そういう事が子どもたちに身につけばいいと思って取り組んでいるところです。地域、保護者の方々の支えもすごく大きいと思っています。さくら文庫の読み聞かせ等の図書ボランティアや、子どもたちの居場所づくりのため早朝に図書室の開放もしていただいたり、クリーン作戦の際には多くの方々に応援していただいたりしています。また、まち先生と言って琴や茶道、図工、科学等の先生になっていただき、教えていただいています。登下校の見守りについてもお力添えいただいております。環境学習では遊々の森において、2年生はそこをとおって中山寺に行き、3年生はそこで櫻守の会の方々に越えいただき、年輪の観察など、樹木の観察の勉強にその環境を役立てているところです。色んな方々に支えられ、子どもたちは学校生活を送っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、中山五月台小学校について校長よりお願いします。</p>
<p>校長</p>	<p>中山五月台小学校の紹介をします。本校は来校者の方からはまず「いい学校ですね」とおっしゃっていただきます。それは自然環境に恵まれている事と、それに伴い落ち着いた雰囲気である事、そして子どもたちが純粋で素直な事について評価いただいております。児童数が多かった平成元年の頃、1149人いた頃と比べると、今は10分の1程度の人数になっていますが、教育において少人数指導の良いところは、子どもの活躍の場が増えるというところです。昨年40周年の記念式典と運動会を並行して実施した際には、教育委員会や地域の方は、児童数の多い時とは違ったほんわかとした雰囲気を感じるとおっしゃっていました。</p> <p>それでは学校要覧を基に説明を行います。本校の良さは教育環境です。1つ目は里山や広い運動場、菜園、観察池と、子どもたちが豊かに育つための教育環境が整備されている事。2つ目は学校教育に関する地域の人材が豊富であること。つまり外部人材の活用と物的資源が豊富です。大きく分けてこの2つが特色です。児童数、学級数については児童数110名となっておりますが、4月以降、2名の転入生があり、現在112名となっております。教育目標は「たくましく やさしく 学びぬく 五月台っ子の育成」とし、全職員で取り組んでいます。目指す子ども像は「たくましい子 やさしい子 学びぬく子」で、自然の中で感性豊かに育ち、子どもらしくのびのびとゆったりとした雰囲気の中で育っています。次に本校の教職員についてですが、とても仲が良く、少人数のため意思疎通も取れておりチーム体制が確立されています。学校、PTA、幼稚園と一体化したような雰囲気です。目指す学校像について、学校の良さは少人数という事もあり、異学年の交流が自然と出来るところです。また校種間交流も幼稚園が隣にありますので、幼小交流が頻繁に出来るところ</p>

	<p>です。中山台地区は幼・少・中の交流が行いやすいブロックでありますので、重点目標としては校種間交流を推進し、中山台地区の教育を発展していければ良いと思っています。最後のページに学校行事について記載されています。日常の授業はもちろん、学校行事の魅力として里山活動があります。田植え、稲刈り、さつまいもの苗植え、じゃがいも掘り等、里山を中心に教育活動が展開されていると言っても過言ではありません。教職員については、記載されている通り少人数のため、しっかりと連携が取れており、いい雰囲気の中で教職員は子どもたちのために情熱を持って取り組んでくれています。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。続きまして委員お願いします。</p>
委員	<p>～ 中山台の航空写真などを用いて、中山台の歴史や開発の経過、自然環境などについて説明 ～</p> <p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 環境省が生物多様性上重要な里地里山 500 選の中に中山台の「まち山」を指定している。 ■ 中山桜台小学校の西側の自然休養林の一部を、教育委員会と林野庁の間で「遊々の森」として協定を結び、環境学習や自然観察などに利用している。 ■ 中山五月台小学校の北側には開発が許可されない緑地保全区域に指定されている。 <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 中山台は自然環境に優れた環境にあり、その自然が今後も開発されることなく保たれる状況にある。この環境は他の小学校にはない、中山台の小学校の特色である。
会長	<p>貴重なお話しありがとうございました。今 3 名の方からお話しをいただきましたが、質問等ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">～ 特になし ～</p>
会長	<p>では次の議題に移ります。議事（3）学校統合に係る情報共有と意見交換について事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料 3 を基に説明します。前回の統合準備会において、各委員が所属する団体の中で情報共有や意見集約をどのようにしていくかというお話しがありました。事務局で想定されるパターンをいくつかまとめさせていただき、資料 3 に記載しております。学校統合に係る具体的な事項は各専門部会で議論いただきますので、各専門</p>

	<p>部会内で検討を進める中での話しとして説明します。</p> <p>～ 資料3に基づき説明 ～</p>
会長	<p>ありがとうございました。今の事務局からのお話しで前回色々ご意見を出していただいたと思いますが、ご意見等ございませんか。</p>
委員	<p>統合することと、それぞれの課題については今後解決していくという事で今ここまで来ています。専門部会の中でそれぞれの課題については議論、決定し、統合準備会は各専門部会から報告を受け、適正化検討委員会に報告していくという流れがあります。統合準備会は各専門部会の決定を覆すようなことはしないという事になっていますので、今の説明でいいと思います。意見集約の方法はテーマにもよると思いますので、③のような事をする必要がある場合はそれでいいと思います。もし専門部会で③のような意見集約をする必要が出た場合は、他の専門部会にも調整をする必要があるかもしれません。その場合は統合準備会で専門部会間の調整をするという流れでいいと思います。もう1つ言いたいのは、大前提には住民の意向としては、統合することが最善の方法であると意見がまとまっています。施設や教育内容、子どもの心の問題なども含めて課題はありますが、それはこれから解決していくという事になっています。本来、他の地区であれば学校と教育委員会で決める問題ですが、そこに住民も参加して考えてきました。住民が参加する中で、全ての議論に住民が入る話もしましたが、教務部会、事務部会は住民が口出しするところではないので、そこについては住民を抜いて決めてもらっていい事になっています。他の部会を含め、学校統合を実行するのは学校と教育委員会になるので、その意向を考えながらまとめていけばいいのではないかと思います。</p>
会長	<p>前回の統合準備会では、事務的に粛々と進めるのではなく、プロジェクト名のように全ての人がわくわくするような学校になるようにご意見がありましたが、意見集約等は今の説明にあったような運用でよろしいでしょうか。</p>
校長	<p>③に書かれているように説明会やアンケートを実施していただきたいと思います。保護者や住民は途中経過が知りたいと思っています。途中経過を知ることで、学校行事やPTA活動などの機会にも意見を言うこともできます。</p>
委員	<p>少し前に、中山五月台小学校ではPTA主催で先生方と意見交換会を実施しました。決定に関しては資料に書かれているように意見集約を行う流れになるイメージが持てますが、保護者と子どもの気持ちが置いて行かれており、その意見交換会の中では不安だという意見がすごく多くありました。団体としての意見の集約はどこまでするのかと思います。</p>

副会長	<p>そもそも適正化検討委員会で統合を決定し、どのように統合を進めていくのかについては、話し合いが始まったばかりです。子どもや保護者の不安な気持ちに配慮しながら話し合いを進めることが大事だと思います。</p>
委員	<p>それは分かっていますが、今不安があるので気持ちが先に進めないんです。統合することで子どもたちがどういった環境に置かれるのかなどの不安について、教育委員会に説明に来ていただいても具体的な話がなく、不安が解消されません。子どもたちは先生方に不安を口にしています。でも全く内容が決まっていないので説明ができません。</p>
副会長	<p>決まっていないのではなくて、学校と保護者と教育委員会と地域と、みんなで今から話し合って決めていくことになります。</p>
委員	<p>そうなのですが、教務部会で先生方が検討、決定されることがありますよね。</p>
副会長	<p>それは学校現場でしか決められないことだと私は理解しています。</p>
委員	<p>今までの論議を中山台地区教育環境適正化委員会でしてきましたが、あと1年半の間に子どもの不安を解消できるような色々な取組を考えていくという事でまとまっています。交流事業を実施する等、保護者が持っている不安をこれから解消するとなっています。不安があるのは分かったうえでそれを解消しながら、令和3年4月には良かったねと言える状況をこれから作ろうとしているので、今不安があるのは当然だと思います。</p>
委員	<p>今の状況でそんなものは全く見えないから不安なのです。まずは、保護者の不安な気持ちや意見を集約してから、学校統合をどのように進めていくのかを考えていかないといけないと思います。</p>
校長	<p>教務部会も近々スタートします。去年から私は人づくりと学校づくり、ソフト面とハード面があると言ってきました。先程もお話しのあった交流事業等で両校の子どもたちや保護者が交わっていく。話し合いが進むことでアンケートや説明会の実施もできる。そんなストーリーを築いていこうと教職員には意思統一しております。あとは教育委員会学校教育課と話をし、4月下旬頃から教務部会のスケジュールを作成いただくことをお願いしていました。</p>
事務局	<p>教務部会でこれから話し合いを進めていくとなっています。検討内容は広いものになりますので、各小学校の代表の先生に出いただき、どこを話し合うのかを示</p>

	<p>したうえで、部会の下に作業部会を設けそれぞれで細かいところを話し合っていたくという形でやっていきたいと考えています。</p>
委員	<p>具体的に何をどうするのが見えてきません。</p>
副会長	<p>今不安に思っている事を集約して、こちらに返していただくことで不安を解消するためにはどういう事が必要なのかが明確になりますので、それを教えていただければと思います。</p>
委員	<p>先生方ともお話しをした中で色々な意見が出ました。先生方が教務部会でこれからお話しをいただくにあたり、保護者、子どもの意見をきいて参考にしてやっていきたいというご意見がありました。</p>
副会長	<p>それは教務部会としての不安の話ですか。</p>
委員	<p>統合に関してなので幅広い不安があります。統合した時に6年生になる子どもは通学路も施設も初めてで、1年生と同じような状況で最高学年をやる事になります。そういう子どもの事を本当に分かってらっしゃるのかという話です。</p>
委員	<p>専門部会ごとに取り組むことが決まっています。教務部会では児童、保護者への配慮に関する事とか両校の交流事業に関する事などがあります。地域・PTA（育友会）部会では通学路に関する事などがあります。それぞれにテーマがありますが、まだ専門部会を開いていないところもあります。各専門部会で計画を作って実行していけば不安は解消していこうという事で進めていくことになります。</p>
委員	<p>「不安を解消していこう」ではダメなんです。</p>
副会長	<p>実際に統合時の6年生にそういう声があるのであれば、その子どもたちにアンケートを取るとか、専門部会の中でそういう意見が出ればそのように進めていけばいいのではないですか。</p>
委員	<p>そこの作業部会でアンケートを取っていくという事ですか。</p>
委員	<p>決まったわけではありません。先程の事務局からの話のように、①や②で意見が集約出来て、不安が解消できれば必ずしもアンケートを取る必要はありません。</p>
校長	<p>整理しますと学校統合は、オープンスクールや参観日とは違い、基本的には教育委員会の事業です。交流事業では学校教育課や学事課に関わっていただきます。ア</p>

委員	<p>アンケートを取り、意見集約するとなれば、教育委員会の事業なので教育委員会の方にお世話になるようなこととなります。まだ教務部会は進んでおらず、2校が交流も出来ていない中では当然不安です。教務部会がスタートすれば、これからはアクションが起こせます。一旦アクションを起こしてから、アンケートや説明会の実施も含めて検討を進めていければと思います。</p> <p>アンケートの実施について、各専門部会で必要であればというお話しですが、保護者が一番参加するのは地域・PTA（育友会）部会の役割はPTAの仕事の調整です。子どもたちや保護者の不安というテーマはその専門部会ではないので、話し合う場がなく、アンケートをどうするかと考える機会がありません。そのことをご理解いただきたいことと、2年前に幼稚園の閉園の際同じように不安が出されましたが、その時に学事課からいただいた回答は親の不安を解消するような内容ではなく、一般的な回答ばかりでした。不安に対し答えてもらっていないという実績があるために、これから課題を解決してくとおっしゃっていただいておりますが、安心して進んでいけないところがあります。校長先生がおっしゃるように教務部会がスタートし、具体的に先生方こういった取組をしますよと出していただければ安心するかもしれませんが、そこでどれだけのものが出てくるのかという事と、先生方が教務部会の第1回目のテーマとして保護者、子どもたちの不安をどれだけ把握して答えていただけるかという心配があります。おっしゃることは分かりますが、不安は拭えず、取り返しのつかない段階になってしまう事に不安はあります。</p>
校長	<p>PDCAという言葉があるように、実際にアンケートや説明会を実施し、思いや意見を把握した上で、見直しながら進める。そういった事も踏まえたスケジュールをお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>併せてお願いしたいのは、問題点を解決することだけではなく、どういう学校を目指すのかという事を示していただければそこに向かっていきます。</p>
校長	<p>学校づくりは学校の責任ですので、教務部会でやっていきますので任せていただければと思います。</p>
副会長	<p>学校にお任せする部分はお任せすることになりますが、それに協力するのは保護者であり地域です。みんなが一緒になって協力しないといけません。学校だけでは、子どもたちも新たに作られる教育方針に則ったように育つことは叶わないと思います。私たちみんながその覚悟をもって取り組まないといけません。素晴らしい教育目標を作ってくださいだけではなく、みんなが一緒になって協力することからスタートです。</p>

委員	<p>私もその通りだと思います。学校の教育目標などは学校に検討いただきますが、それに対し先生方が大変なところは協力したりすると思います。この前のPTAの代表委員会で、校長先生が学校で困っている事をお話いただき、すごくよかったと思っています。学校の困りごとをお話いただき、一緒に考える場ができたと感じましたし、子どもたちの事をPTAも一緒にサポート出来たらいいなと思っています。ですが、不安のベースが既に蓄積されています。学事課に中山五月台小学校のアンケートのお答えを返していただくようお願いしていますが、まだ返していただけていません。1回目はお答えをいただきましたが、あれでは分かりませんでした。</p>
委員	<p>少し確認させて下さい。教育委員会や学校を信頼できませんか。私は担当するのはプロのエリアはプロに任せた方がいいと思います。力を合わせて子どものためにいい学校を目指そうと思っているのは、我々も教育委員会も同じです。今から教務部会でそういったところを前提に計画を考えて、実行すると言っていますので、まずはそれを信頼しませんか。私は信頼しています。住民から見ても足りない部分が出てきた場合は、その時にアドバイスをすればいいと思います。今まで信頼できなかったからと言われるとこの会議は成り立ちません。</p>
委員	<p>信頼の話をしているのではありません。保護者は中山五月台小学校の先生をとっても信頼しています。</p>
委員	<p>私が言っているのは、学校だけが統合の事業をするわけではなくて、住民も協力しないとうまくいかないという事です。だから主体は学校や教育委員会が決めるにしても、我々もこの統合準備会や専門部会の中で意見を言う機会があります。</p>
委員	<p>一般の保護者が言う機会がありますか。</p>
委員	<p>私が言ったのは保護者全般ではなく、この委員会の中で委員が言う機会があるという事です。</p>
委員	<p>私が言っているのはこの委員会の人だけではなく、他の方々がどういう思いを持っているのかも理解していただきたいという事です。</p>
委員	<p>各団体で守備範囲があります。コミュニティは中山台の全体を見えています。育友会は育友会の保護者を見ている。育友会の意見は育友会でまとめていただくのが一番いいです。</p>
校長	<p>私は統合を経験していますが、最初は皆さん不安を感じられています。今までの説明は不十分で余計不安が増しているのは事実です。実際に不安を解消するのは</p>

事務局	<p>子どもたちの変化です。これから交流事業などによって、子どもたちがどう変わっていくかが大事です。子どもたちが悪く変わっていけば余計不安になりますね。でも子どもたちが良いように変化していくと、学校や保護者の連携も取れるようになってきます。交流の中で、保護者にお願いすることも出てきます。そうすると保護者も見ていただく機会ができますし、子どもの様子なども分かります。そしてアンケートや説明会により、次に何をすればいいのかが見えてくる。そういった積み重ねです。今色んな意見が出ていましたので、教育委員会のお考えをお願いします。</p> <p>今校長先生がおっしゃったように、子ども、保護者の方、地域の方を含め不安があることは感じております。その不安を解消していくものが学校と教育委員会とで進めていく教務部会だと考えおります。教務部会を着実に進めていく事で、交流しながら子どもたちの変化が見えるだろうし、子どもも何かを感じるだろうし、それが保護者にも伝わっていくと思います。教務部会で早いうちにアンケートを行う事も一つの手段であると考えています。そういったところを含め、教務部会をスタートしながら交流も出来るところすぐに進めたいと考えています。進める中で皆さまのご意見を直接学校に返していただいても結構ですし、この委員会でお返しいただく形もあると思います。意見を返すところがないというご意見もありましたので、そういったところを取り入れながら進めていきたいと思っています。</p>
副会長	<p>今、校長先生がおっしゃった統合に向けたタイムスケジュールのようなものを示していただければ、保護者の方も統合がどう進んでいるのかが分かり、安心できるような材料になると思いますので、早くお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>それは全保護者に配っていただけますか。</p>
校長	<p>それは必要だと思います。指導に関する事は教職員が両校連携して行います。企画運営に関して、例えばアンケートや説明会などは統合事業ですので、教育委員会で行います。その辺りの役割分担ですね。見通しを持たないと不安です。</p>
事務局	<p>色々のご意見ありがとうございます。確かに我々が学校に伺ったときにも不安だというお声はよく聞きます。また、それに対し具体的に何をするという事もお答え出来ておりません。お話しをお伺いするという事しか出来ておりません。それも一部の方だけとなっております。今学校教育課長からもお話しした通り教務部会には児童、保護者への配慮に関する事が検討項目にありますし、PTA 活動を含め色々な意味で保護者、子どもから意見きかないといけない機会があると思います。それも早急にやらなければならない事だと思いますので、まずは教務部会が始まってすぐそこを議論していかなければいけないと思います。近いうちにアンケートを取り、今不安に思っている事をお伝えいただき、こちらがそれを受け止め、しっかり</p>

	<p>と返していく。そうした事を取組んでいる姿も見えていただけるように、統合に向けてしっかりとやっていかなければいけないと思います。また、しっかりお答えを返していかないといけないという事は十分認識出来ますので、まずは集約し、きちんと返していく。それと今まできちんと説明出来ていなかったのも事実ですので、説明会も何度か行いながら、ここでの議論が広く、中山台全体に広がるような取組を進める事で、そういった不安を少しでも解消していきたいと思います。そうした事もこの地域の中で課題を共有して方策を考えていただいて、我々も一緒になって協働でわくわくするような学校にしていきたいというふうに考えておりますので、今の色々な不安は必ず注力して取組んでいこうと思いますので是非ご協力をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今色々ご意見いただきましたが、今後は各専門部会から色々具体的なお話しが上がってくると思います。今日はこの後、中山台地区教育環境適正化検討委員会もあり、会議がまだまだ続きますが、最後に事務局の方から報告があります。</p>
事務局	<p>資料 4、5 になりますが、前回の統合準備会で社会体育団体部会の構成メンバーを、社会体育団体の代表のみで構成するとしたことについて組織図に反映しました。最新の組織図という事で配布しております。</p> <p>この後 15 時から適正化検討委員会を開催しますので、引き続きよろしくお願ひします。</p>
委員	<p>中山五月台小学校の先生方と意見交換会をした際に色々な意見が出ましたが、それに対する回答がほしいという話がありました。そういった意見は聞いていただいた方がいいと思います。</p>
校長	<p>公的な場ですので、一旦学校長と相談いただいて整理してからどうするか考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>この前の会では統合準備会でお伝えしてもいいか確認し、保護者や先生方から了承は得ています。</p>
校長	<p>あとは内容の方を整理してお伝えするという事でよろしいですか。</p>
事務局	<p>今回ではなくて出し方も含めて、次回にという事ですね。</p>
会長	<p>本日はこれで終了します。ありがとうございました。</p>